

アグリバイオ実用化・産業化研究（継続）

【454（618）百万円】

事業のポイント

農林水産・食品分野の研究開発の発展や新産業の創出を目指して、独立行政法人の有する技術シーズを基に産学官連携による実用化・産業化研究を実施します。

（研究課題実施例）

- ・ 呈味物質に応答する細胞を利用した食品開発技術の実用化
- ・ アレルゲン検出技術を利用した食品素材等の開発
- ・ 子豚生産方法としての豚胚の非外科的移植技術の実用化
- ・ 遺伝子情報を用いた抗病性鶏品種の作出等の課題を引き続き実施します。

政策目標

平成20年度までに、民間企業等による研究成果の事業化についての道すじをつける。

<内容>

1. 食料機能性、安全性向上のための研究開発

消費者ニーズに対応した機能性、安全性の高い食品、農作物の作出等の研究開発を行います。

2. 持続可能な社会の実現のための研究開発

産業利用が可能なレベルで有用物質を生産する生物の作出、抽出、精製等の研究開発を行います。

<実施主体> 独立行政法人、大学、民間企業等

<実施期間> 平成16年度～平成20年度

[担当課：農林水産技術会議事務局先端産業技術研究課 03-3502-7462（直通）]